

2015/12/06 シンガポールマラソン参戦記

松田 知之

昨年エントリーしながら行けなかったシンガポールにリベンジしてきました。

でも振り返りにあってきました。

日本はランにはベストシーズンで、ここの所毎週レースでストレス発散。

GDP 日本を上回る金持ちぶりを見てやろーと、またまたビンボー弾丸レースを無防備に敢行。

夜中の 2 時にホテルについたのに、気温 26 度くらい。

確か出国時京都は 8 度やった。

レース当日 5 時スタートの意味が理解できませんでした。

日中は 30 度越え。

これが一年中だから、シンガポリアンは暑いのに強いのか、寒いのに弱いのか。

福知山の記録を参考にしエントリーしたら大変無様な記録になりました。

ちなみに 12 月 6 日レースなのに、11 月 30 日でもエントリーできる人気ないレース？です。

エイドやインフォメーションは日本が整い過ぎなのか、荷物預けとかも結構大変です。

コースは兎に角どフラットですが、なんしか、暑い。

体力が夜明けと共にドンドン奪われます。

まあ観光のついでに走りにきました感覚が、ちょうどいい。

町中は 30-50 の高層ビルディングだらけ、タクシーのオッチャンも決してポツタクリません。

むしろ周り道したからと金を帰してくれました。

交通量もコントロールされていてマニラとはおおちがい。

だって同じ車に日本の三倍以上の値段がするのに、ベンツ、BM、レクサスがカロウラ感覚で乗り回されてます。

おそろべし 70 年後の昭南島。

1942 から 1945 年の日本の侵略にはいまだに忘れ難き怨恨があるようで、あまり親日ではありませんが、治安は良好。

一日にして、中国人、インド人、アラブ人、マレー人のダウンタウンを満喫できるカルチャージョギングなイベントでした。

是非 ironman を復活して欲しいなあ。

でもマラソン大会としてはこりごりやなあ。

